みなみだより

小美玉市立小川南中学校　学校だより
NO. 26　令和5年2月9日　発行

キーワード（生徒）気付き　考え　行動する　／　組織目標（教職員）生徒が主役　任せる　支える　寄り添う

現時点でのできることを検討しながら

「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル『学校の新しい生活様式』(文部科学省)」において、「感染症対策を講じてもなお感染のリスクが高い学習活動」の中で、特にリスクの高いものとして、「家庭、技術・家庭における児童生徒同士が近距離で活動する調理実習」が挙げられています。

本校では、現時点での、県内や近隣、本校の感染者の減少などから、以下のような感染対策をとりながら調理実習を実施しています。

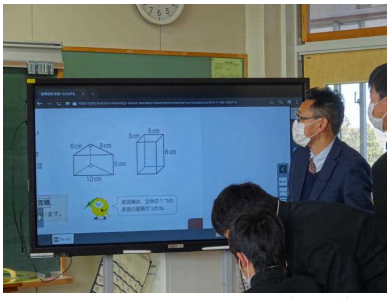
本校における調理実習時の感染対策

①　授業前後の手洗い・手指消毒の徹底する。
②　換気を徹底する。
③　器具や用具の共用を避ける。
　＊　以前のような、グループ内で作業を分担する調理実習は行いません。ガス台や包丁、まな板、ボウル等の共用を避け、各自が一人分の調理をし、それを試食します。
④　調理場所と試食場所をわける。
　＊　調理：調理室で各台２名ずつで調理
　　試食：家庭科室で一方向を向いて黙食

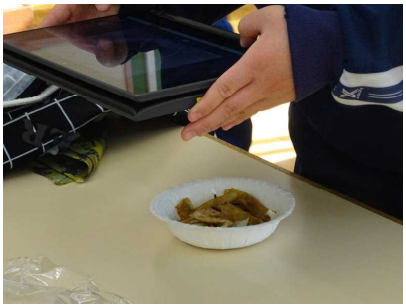
一人分の調理のしやすさを考え小さめの用具をそろえています。

防衛省の基金を活用しています

防衛省の「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用して整備していただいている機器等を使い教育活動を進めています。

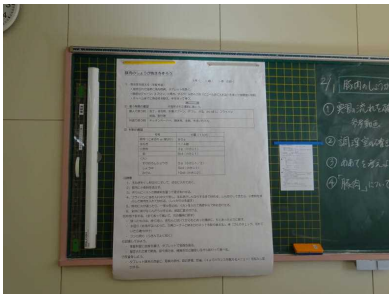


授業や集会、学校行事等で活用している電子黒板やプロジェクタ



タブレットを使って自分の作品を画像に残したり先生に提出したり

学習ソフト「ミライシード」による意見交換、ドリル学習、プレゼンテーション、USB型ドングルの活用



大型プリンタによる教材等を拡大提示

ご協力ありがとうございました

昨年末の赤い羽根共同募金の総額が１７，０９０円になりました。市社会福祉協議会を通じて、県共同募金会に全額を送りましたことを遅くなりましたが報告いたします。